

令和7年度 結核予防技術者地区別講習会(九州地区)

各プログラムにおける講義内容(※各講義、職種を問わず参加できます)

合同講義＜前編・後編＞(結核研究所)

日時:前編 7月31日(木)10時30分～12時30分

後編 8月01日(金)09時45分～11時45分

講師:結核予防会結核研究所 対策支援部 部長 太田正樹 氏

テーマ:結核根絶に向けた結核対策の方向性－結核に係る特定感染症予防指針改定を含め

講義内容(予定):

1. 最近の結核の疫学状況(2023 年分)
2. 外国生まれの結核患者(入国前検診、患者帰国支援、入国後検診の方向性)
3. 患者発見の考え方
4. 最近の集団発生、あるいは特記すべき接触者検診等の経験
5. 結核治療の世界的趨勢, 新薬の使用、医療基準の改正について
6. 病原体サーベイランス
7. 結核分子疫学調査手引、接触者健診の手引、集団発生調査の手引について
8. 結核対策に関する相談事業について
9. 結核低蔓延下における医療提供体制
10. 新技術の開発
11. 医療DX への対応
12. 結核に係る特定感染症予防指針の改定に向けて

◆受講により取得できるもの

＜前編＞日本医師会生涯教育制度 2単位(CC 8)

＜後編＞日本医師会生涯教育制度 2単位(CC 8)

結核患者支援の基本講義

日時:7月31日(木)14時00分～16時30分

講師:結核予防会結核研究所 対策支援部保健看護学科長 座間智子 氏

テーマ:結核における患者中心の服薬支援の基本と地域を基盤とした支援の強化
～増加する外国出生結核患者支援への取り組み～

講義内容(予定):

1. 結核の最新情報と基礎知識

結核患者支援に必要な結核の基礎知識

2. 患者中心の支援と結核対策対応の実際 ～外国出生者への支援を中心に～

1)早期発見

2)初回面接の重要性

3)服薬環境を整えるための服薬継続リスク評価、治療の徹底(LTBI 含む)

4)医療・保健・福祉・関係機関等との多様な連携

(医療通訳者、医療ソーシャルワーカー、監理団体、高齢者施設、感染管理認定看護師等との連携)

5)接触者健診の実際と分子疫学調査との関連

3. 地域の特徴を生かした結核支援体制の強化

・コホート検討会の基本的な考え方と役割

・地域での啓発活動

4. 資料紹介

・「治療計画書」「患者と一緒に学べる質問票」2024 年度(8 言語対応)

・保健師・看護師向け教育教材「外国出生結核患者の支援」2023 年度

・「介護職のあなたに知ってほしい 結核のこと」2022 年度

・結核服薬支援ツール(飲みきるミカタ)

・禁煙支援指針(日本結核・非結核性抗酸菌症学会HP)

・抗酸菌症エキスパート制度

◆受講により取得できるもの

日本医師会生涯教育制度 2.5単位(CC 12)

臨床講義

日時:7月31日(木)18時30分～20時30分

講師:結核予防会結核研究所 対策支援部企画医学科長 平尾晋 氏

テーマ:結核の診断と治療のおさらいと最新情報

講義内容(予定):

1. 結核の診断の基礎
2. 2. 結核の治療の基礎(Xpert とコバスMTB-RIF/INH の活用を含む)
3. INH とRFP の治療の実践
 - ・結核の臨床に役立つ新たな知見
 - ・結核研究所でDeeplex は研究として受けている
 - ・最近の論文など

◆受講により取得できるもの

日本医師会生涯教育制度 2単位(CC 8)

合同講義(厚生労働省)

日時:8月1日(金)11時55分～12時55分

講師:厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策課 課長補佐 亀谷航平 氏

テーマ:最近の結核対策の動向を踏まえた今後について

講義内容(予定):

2023 年、我が国における新登録結核患者数は10,096 人、罹患率は8.1 となり、2021 年以降、日本は結核低まん延国の水準を維持しています。現行の結核対策及び今後の方向性等をお話したいと考えております。

◆受講により取得できるもの

日本医師会生涯教育制度 1単位(CC 0)

◆2日間通しての受講により取得できるもの:

日本結核・非結核性抗酸菌症学会 結核・抗酸菌症認定医/指導医認定制度の更新単位